

2023年3月期 第2四半期決算説明

2022年11月1日 (火)



- 1 会社概要
- 2 2023年3月期第2四半期連結決算概況
- 3 2023年3月期業績予想
- 4 中期経営計画
- 5 appendix



1 会社概要



愛知時計電機株式会社



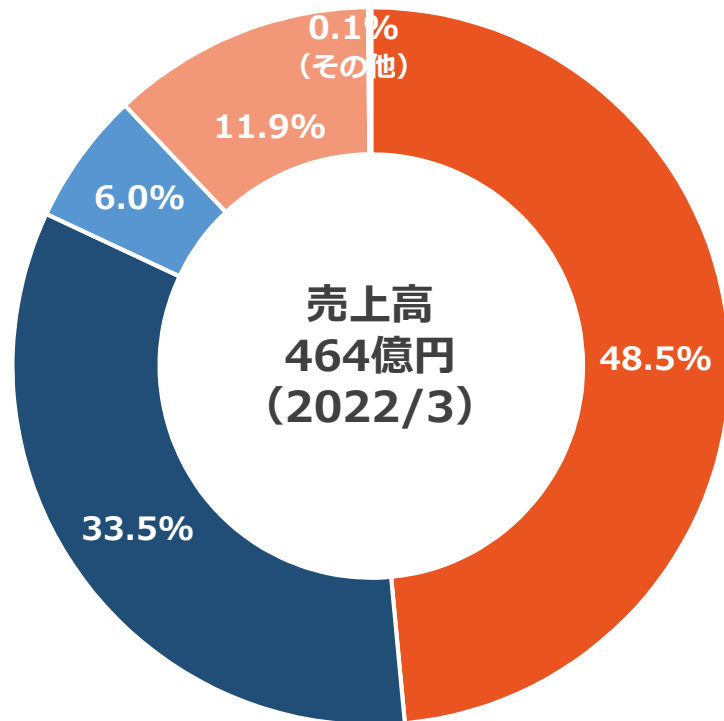
1. 会社概要

会社概要

会社名	愛知時計電機株式会社
創立	1898年（明治31年）7月 <創立124年>
代表取締役社長	國島 賢治
所在地	名古屋市熱田区千年一丁目2番70号
資本金	32億18百万円
従業員数	連結 1,780名（単体 1,218名）
拠点	支店・営業所 24カ所 / 工場 7カ所
連結子会社	5社（国内3社、海外2社）
事業内容	ガス・水道メーター、計測機器及び計測システムの 開発・製造・販売

1. 会社概要

事業概要



ガス関連機器	
主要製品	ガスメーター（都市ガス用・L Pガス用） 【シェアNO.1】 クラウドサービス、圧力機器
主要顧客	都市ガス会社、L Pガス会社

水道関連機器	
主要製品	水道メーター【シェアNO.1】 積算熱量計、検針システム
主要顧客	水道事業体、建築設備会社、管理会社

民需センサー・システム	
主要製品	超音波流量計、小型流量センサー
主要顧客	工場 産業用・医療用装置メーカー

計装	
主要製品	電磁流量計、水位計、監視・制御システム ※施工・メンテナンス含む
主要顧客	公官庁（上下水道施設、農業用水施設など）



2 2023年3月期第2四半期連結決算概況



2. 2023年3月期第2四半期連結決算概況

業績サマリー



売上高は増収、原材料高の影響を受けるも、 円安効果で経常利益は前期並みを確保

- ◆ 国内外での販売堅調により4.6%増収
- ◆ 材料価格高騰により20.8%の営業減益

(百万円)

	2022/3 2Q	2023/3 2Q		
		実績	対前年同期	
			増減	%
売上高	22,568	23,602	1,034	4.6%
売上原価	17,144	18,405	1,260	7.4%
売上総利益 (売上総利益率)	5,424 (24.0%)	5,197 (22.0%)	△226	△4.2%
販管費	4,140	4,180	40	1.0%
営業利益 (営業利益率)	1,284 (5.7%)	1,017 (4.3%)	△266	△20.8%
経常利益	1,480	1,479	△1	△0.1%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,119	1,077	△42	△3.8%

2. 2023年3月期第2四半期連結決算概況

事業部門別売上高

民需SSを除き、各部門とも前期を上回り堅調

- ◆ IoT関連機器の伸長や輸出回復によりガス関連機器は1.4%増収
 - ◆ 国内市場・海外市場ともに堅調に推移し水道関連器機器は7.1%増収
 - ◆ 部品調達難が影響し、民需センサー・システムは9.7%減収
 - ◆ 工期延長により一部期ずれ工事が発生したこと等により、計装は35.1%増収
- (百万円)

	2022/3 2Q	2023/3 2Q		
		実績	対前年同期	
			増減	%
計測器関連事業				
ガス関連機器	11,770	11,936	165	1.4%
水道関連機器	8,225	8,805	580	7.1%
民需センサー・システム	1,342	1,212	△129	△9.7%
計装	1,194	1,613	419	35.1%
計測器関連事業合計	22,532	23,568	1,035	4.6%
特機関連事業				
特機	35	34	△1	△3.2%
合計	22,568	23,602	1,034	4.6%

輸出はアジア・欧米とも好調、売上高は2割弱の伸び

- ◆ 日本国内はガス関連機器の取替需要やIoT関連機器、堅調な官需を中心とした水道関連機器の伸長により3.4%増収
- ◆ アジアは台湾向け都市ガスメーター、アセアン向け水道メーターが増加し、16.5%増収
- ◆ 欧米は北米向け水道メーターが増加したほか、円安効果もあり23.8%増収

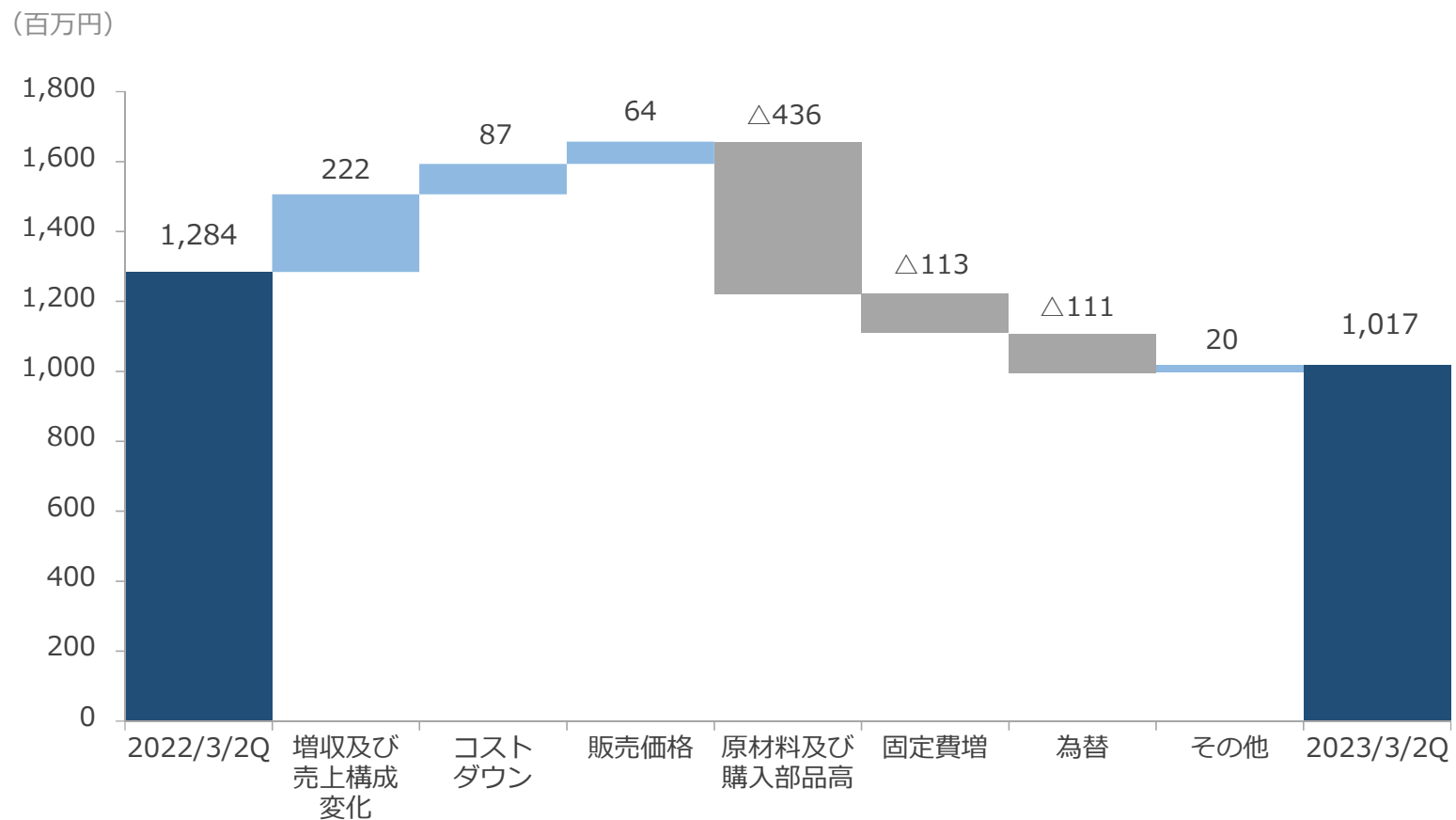
(百万円)

	2022/3 2Q	2023/3 2Q		
		実績	対前年同期	
			増減	%
国内	20,869	21,579	710	3.4%
海外	1,698	2,023	325	19.1%
アジア	1,101	1,283	182	16.5%
欧米	597	739	142	23.8%

2. 2023年3月期第2四半期連結決算概況

営業利益増減要因分析

【営業利益増減要因】



2. 2023年3月期第2四半期連結決算概況

貸借対照表（資産）

- ◆ 現金及び預金の増加等により流動資産が483百万円増加
- ◆ 有形固定資産の取得等により固定資産が48百万円増加

(百万円)

	2022/3	2023/3 2Q	
		実績	対前期末
			増減額
流動資産	32,904	33,388	483
固定資産	19,323	19,371	48
有形固定資産	7,990	8,067	76
無形固定資産	76	87	11
投資その他の資産	11,256	11,217	△39
資産合計	52,227	52,760	532

2. 2023年3月期第2四半期連結決算概況

貸借対照表（負債・純資産）

◆未払法人税の減少等により流動負債が483百万円減少

◆利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加により純資産は1,121百万円増加

(百万円)

	2022/3	2023/3 2Q	
		実績	対前期末
			増減額
流動負債	10,744	10,260	△483
固定負債	6,254	6,149	△105
負債合計	16,999	16,410	△588
株主資本	32,789	33,503	713
資本金	3,218	3,218	—
資本剰余金	311	311	—
利益剰余金	29,407	30,076	669
自己株式	△147	△103	44
その他包括利益累計額	2,426	2,833	407
新株予約権	12	12	0
純資産合計	35,228	36,349	1,121
負債純資産合計	52,227	52,760	532

2. 2023年3月期第2四半期連結決算概況

キャッシュ・フロー

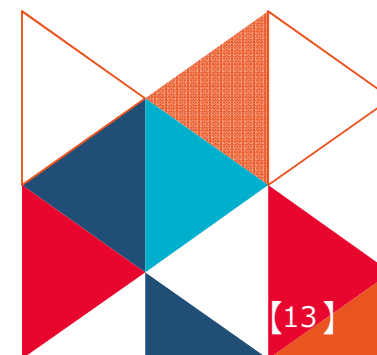


(百万円)

	2022/3 2Q	2023/3 2Q		主な増減要因
		実績	対前年同期	
			増減	
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,255	1,338	△917	売上債権の減少額の減 △1,678 仕入債務の減少額の減 △1,211
投資活動によるキャッシュ・フロー	△362	△ 301	61	投資有価証券の取得による 支出の減 49
財務活動によるキャッシュ・フロー	142	△ 107	△249	長期借入金の返済による 支出の増 △250
現金及び現金同等物に係る換算差額	79	350	271	
現金及び現金同等物の増減額	2,114	1,280	△834	
現金及び現金同等物の期首残高	8,310	8,277	△33	
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,425	9,557	△867	



3 2023年3月期業績予想



第2四半期の堅調を受け、通期業績予想を 売上・利益とも上方修正

- ◆ 第2四半期の業績や今後の動向を精査し、当初の通期業績予想を上方修正
- ◆ 売上高は2,070百万円、営業利益は240百万円、当初予想を上回る見込み

(百万円)

	2022/3	2023/3		
		予想	対前期	
			増減	%
売上高	46,483	49,340	2,857	6.1%
営業利益 (営業利益率)	3,287 (7.1%)	3,050 (6.2%)	△237	△7.2%
経常利益	3,814	3,730	△84	△2.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,789	2,730	△59	△2.1%

3. 2023年3月期業績予想

事業部門別売上高予想

民需SSを除き、引き続き堅調な需要を見込む

- ◆ ガス関連機器は、IoT関連機器の伸長により2.7%増収を見込む
- ◆ 水道関連機器は、国内外での販売堅調により6.9%増収を見込む
- ◆ 計装は、工期延長など期ずれの影響により22.1%増収を見込む

(百万円)

	2022/3	2023/3		
		予想	対前年同期	
			増減	%
計測器関連事業				
ガス関連機器	22,549	23,160	610	2.7%
水道関連機器	15,549	16,620	1,070	6.9%
民需センサー・システム	2,779	2,740	△39	△1.4%
計装	5,535	6,760	1,225	22.1%
計測器関連事業合計	46,414	49,280	2,866	6.2%
特機関連事業				
特機	69	60	△9	△14.2%
合計	46,483	49,340	2,857	6.1%

3. 2023年3月期業績予想

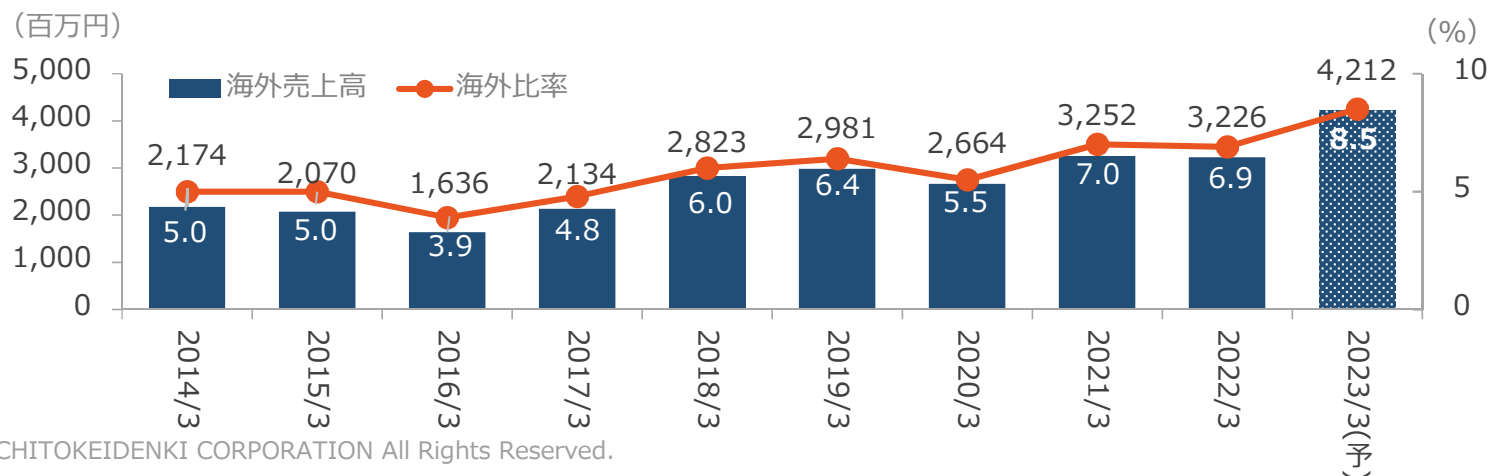
国内外売上高予想

輸出はアジア・欧米とも好調、売上高は3割増の見込み

- ◆ アジアは台湾向け都市ガスメーターの増加などにより32.8%の増収を見込む
- ◆ 欧米は北米向け水道メーター増加のほか、円安効果も見込み27.4%の増収を見込む

(百万円)

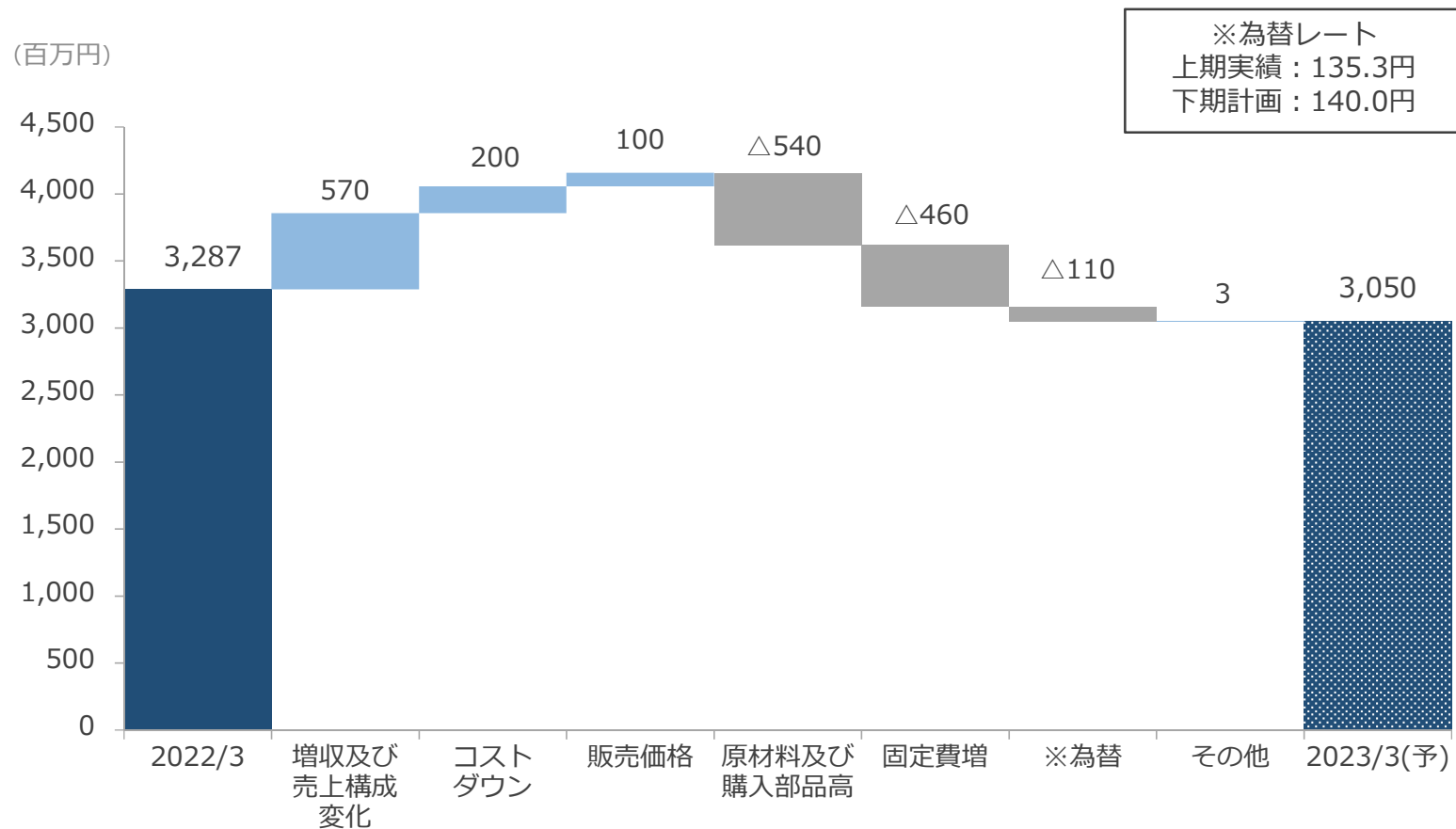
	2022/3	2023/3		
		予想	対前年同期	
			増減	%
日本	43,257	45,128	1,871	4.3%
海外	3,226	4,212	986	30.6%
アジア	1,887	2,505	618	32.8%
欧米	1,339	1,706	367	27.4%



3. 2023年3月期業績予想

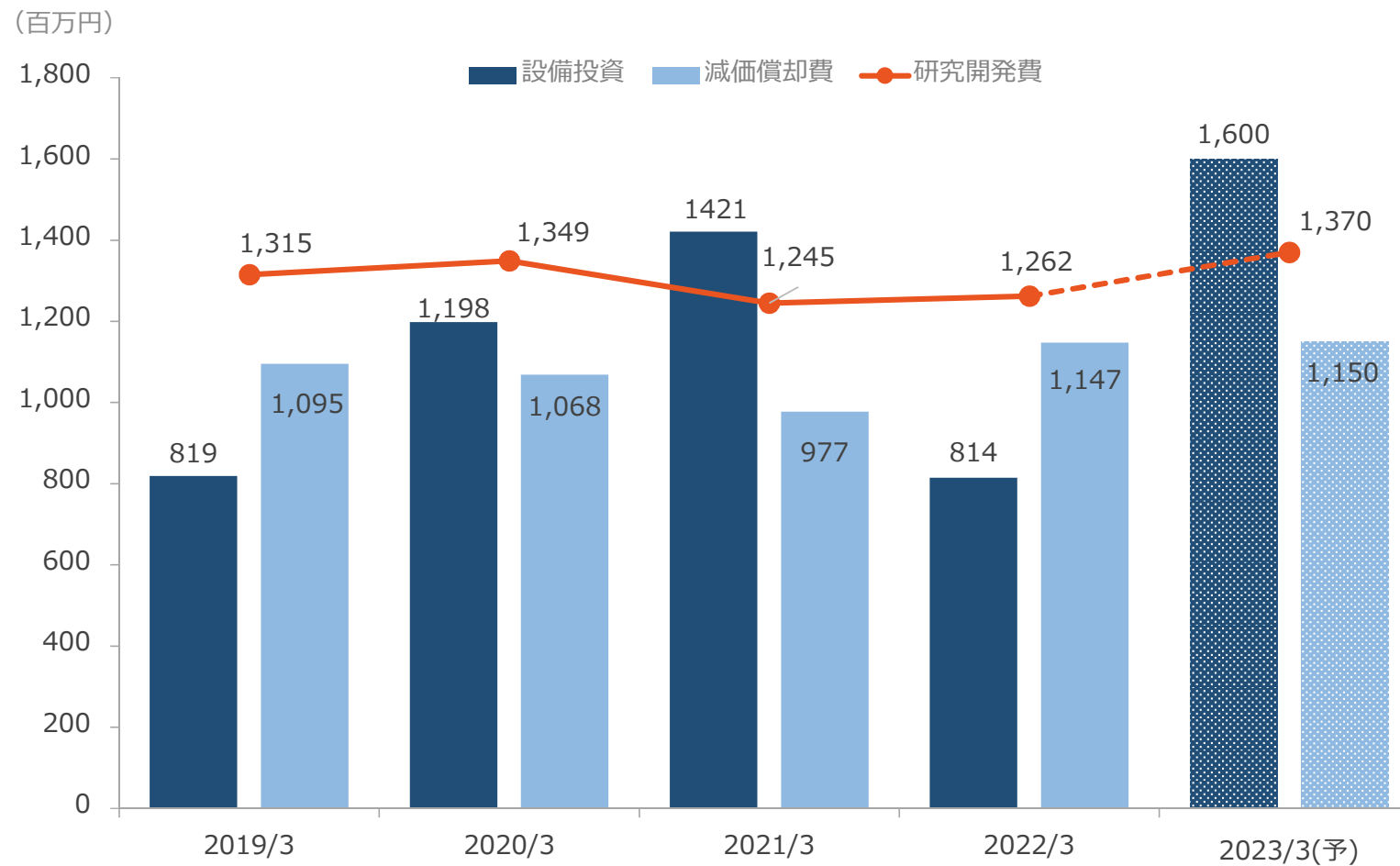
予想営業利益増減要因分析

【営業利益増減要因（予想）】



3. 2023年3月期業績予想

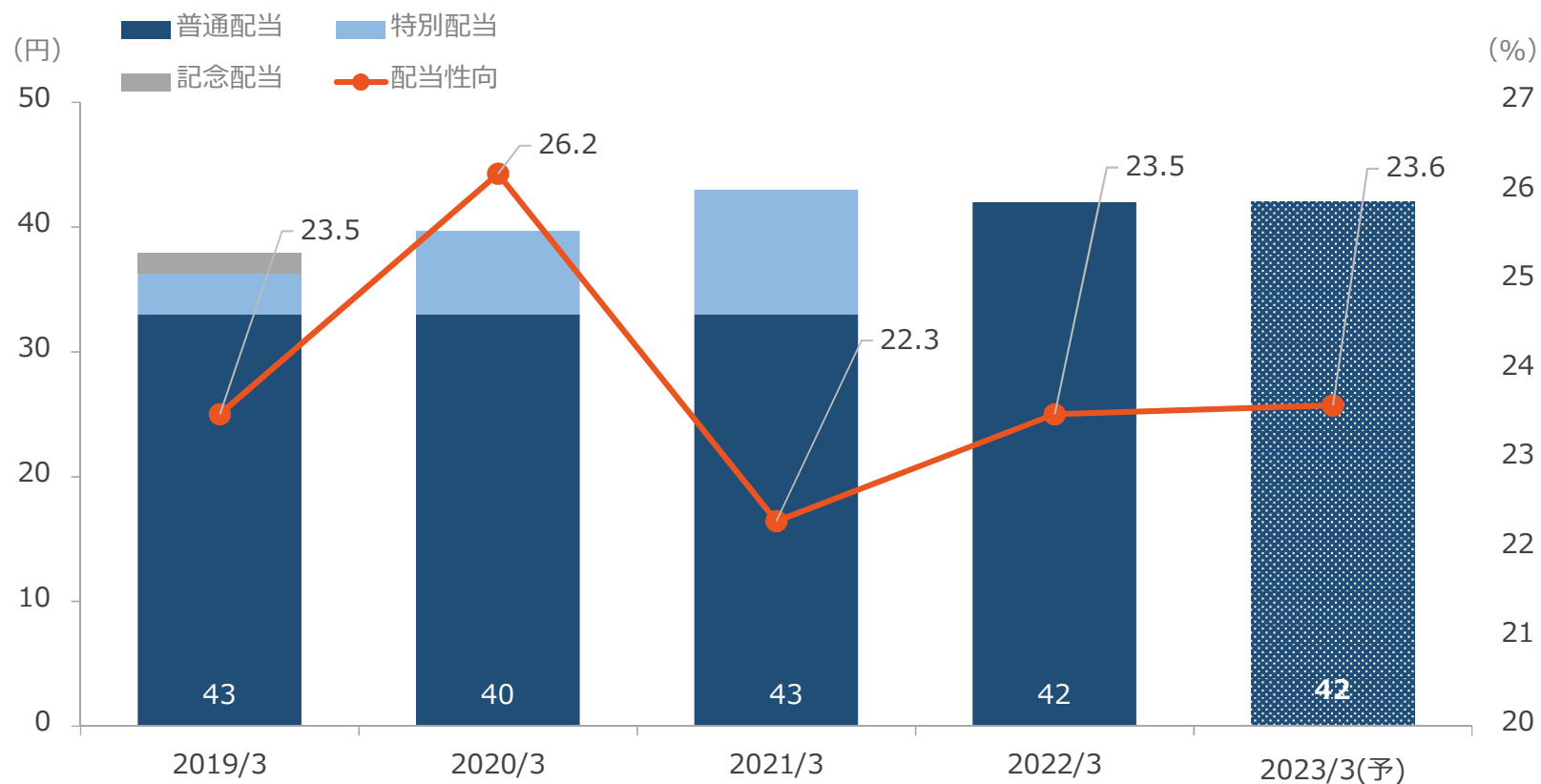
設備投資・減価償却費・研究開発費推移



3. 2023年3月期業績予想

株主還元

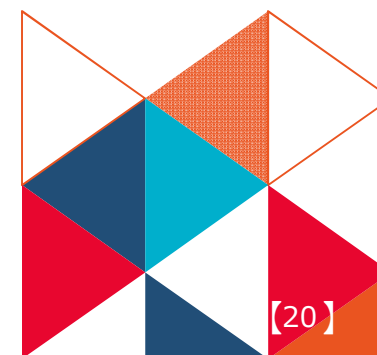
◆ 長期的な成長のための財務の安定と投資計画を鑑みながら、業績に応じた株主還元を実施



※2022年2月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。
2022年3月期以前の配当については、株式分割を考慮した数値を記載しております。



4 中期経営計画



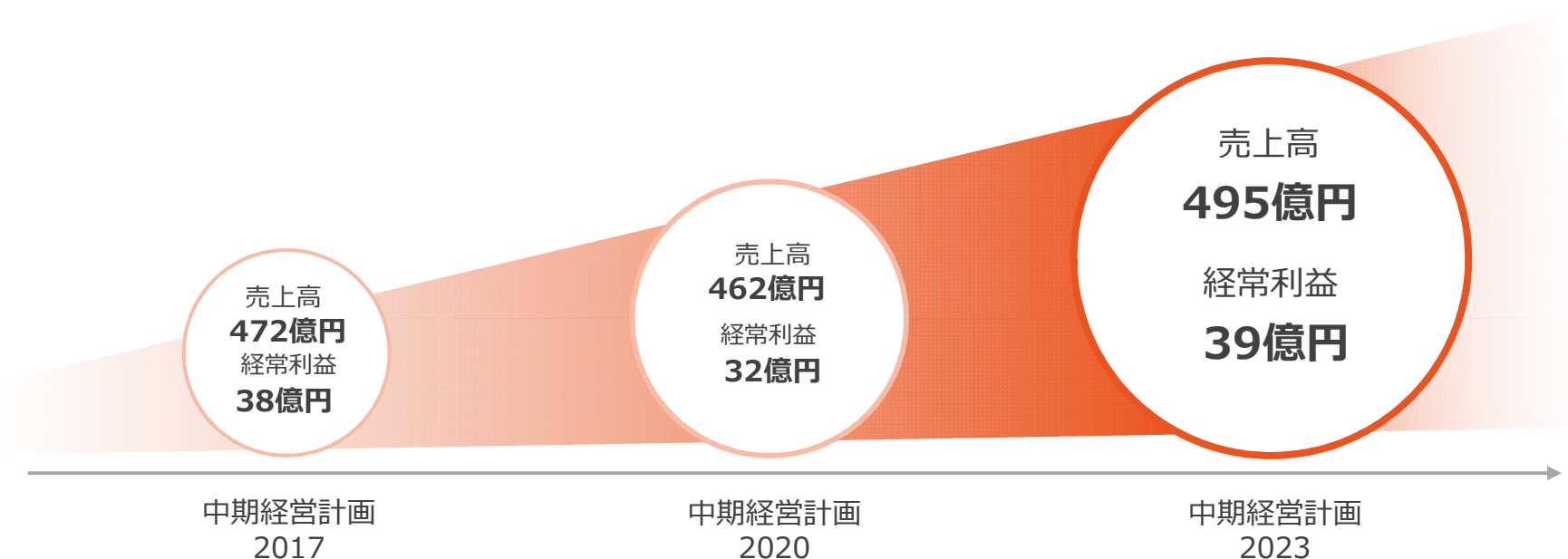
4.中期経営計画 目指す方向

ミッション

- 信頼・創造・奉仕の企業理念のもと、スマート社会に貢献するテクノロジーを磨き、お客様に新しい価値を創造し、提供し続けることで社会に貢献する。

ビジョン

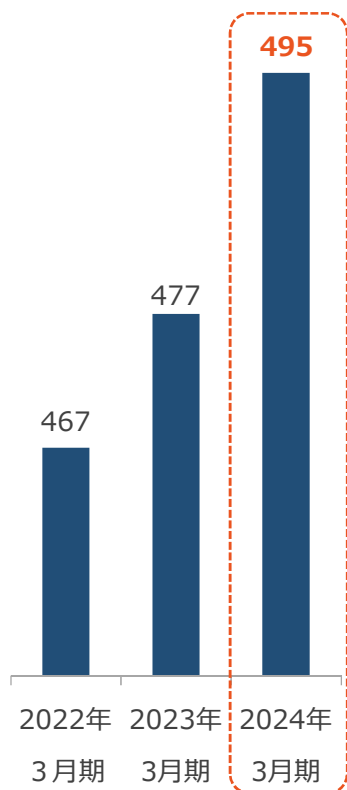
- 「はかる技術」「IoT技術」「ソリューション」をキーワードとしたお客様価値を追求し、新しいシステムやサービスを提供する。
- 海外市場に向けた取り組みは、よりレスポンスを高めて継続し、世界に当社商品・技術を拡げていく。
- 企業活動におけるESG（環境・社会・企業統治）を尊重し、社会に信頼される企業となる。



4.中期経営計画 数値目標

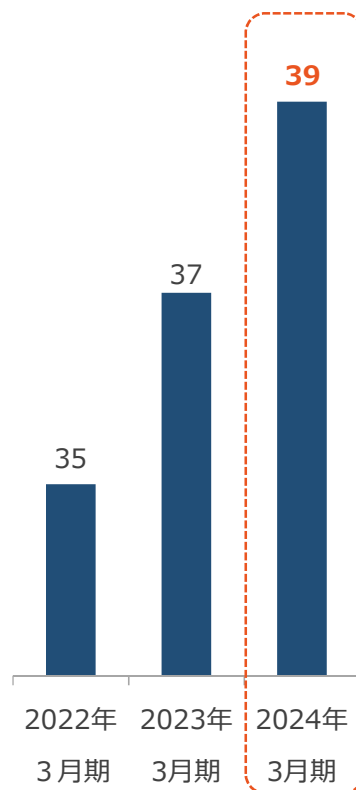
売上高

(億円)



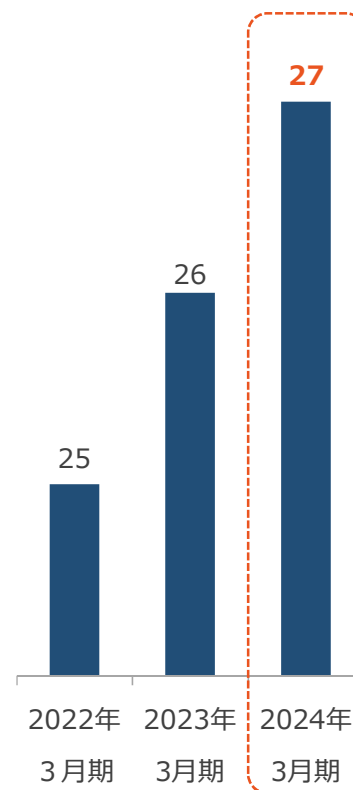
経常利益

(億円)



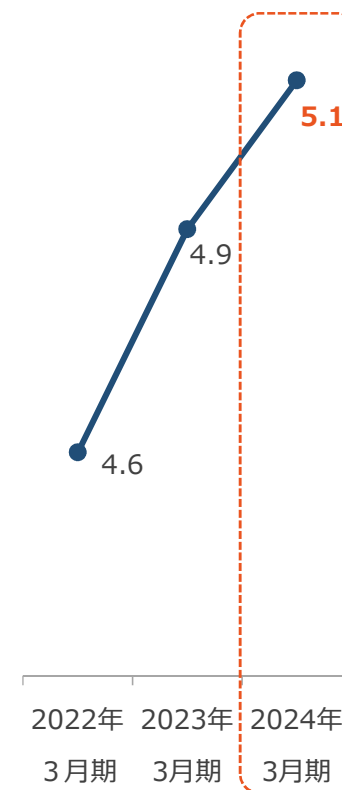
純利益

(億円)



ROA

(%)



4.中期経営計画

基本戦略

テーマ	重点施策	戦略
市場の拡大、事業領域拡大への チャレンジ	商品のスマート化促進とデータ配信 サービスの拡大	アイチクラウドのサービス拡大
	海外市場向け商品競争力の強化と パートナーとの関係強化	中国・ASEAN地域を中心とした拡販
	公共施設向けセンサー・システムの 販売・施工・メンテナンス力の強化	提案力・受託力の強化
基盤事業分野の競争力向上と 収益向上	価格競争力の向上	生産性向上の追求
	お客さま満足の上	自動化・デジタル化推進によるQCDの向上
	スマートメーターの生産対応	需要にマッチした高品質製品の提供
経営力の強化	スタッフ部門の生産性向上	働き方改革・DX推進
	全体最適のグループ経営	グループのガバナンス強化
	企業価値向上	ESGの視点を重視した経営

◆商品のスマート化促進とデータ配信サービスの拡大



当社計測機器のスマート化を促進し、収集するデータの提供により顧客の業務効率化・新サービス開発に貢献



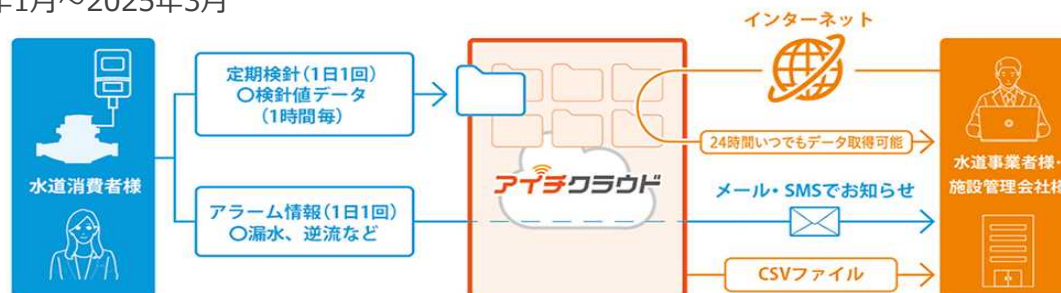
4.中期経営計画

重点施策①

◆商品のスマート化促進とデータ配信サービスの拡大

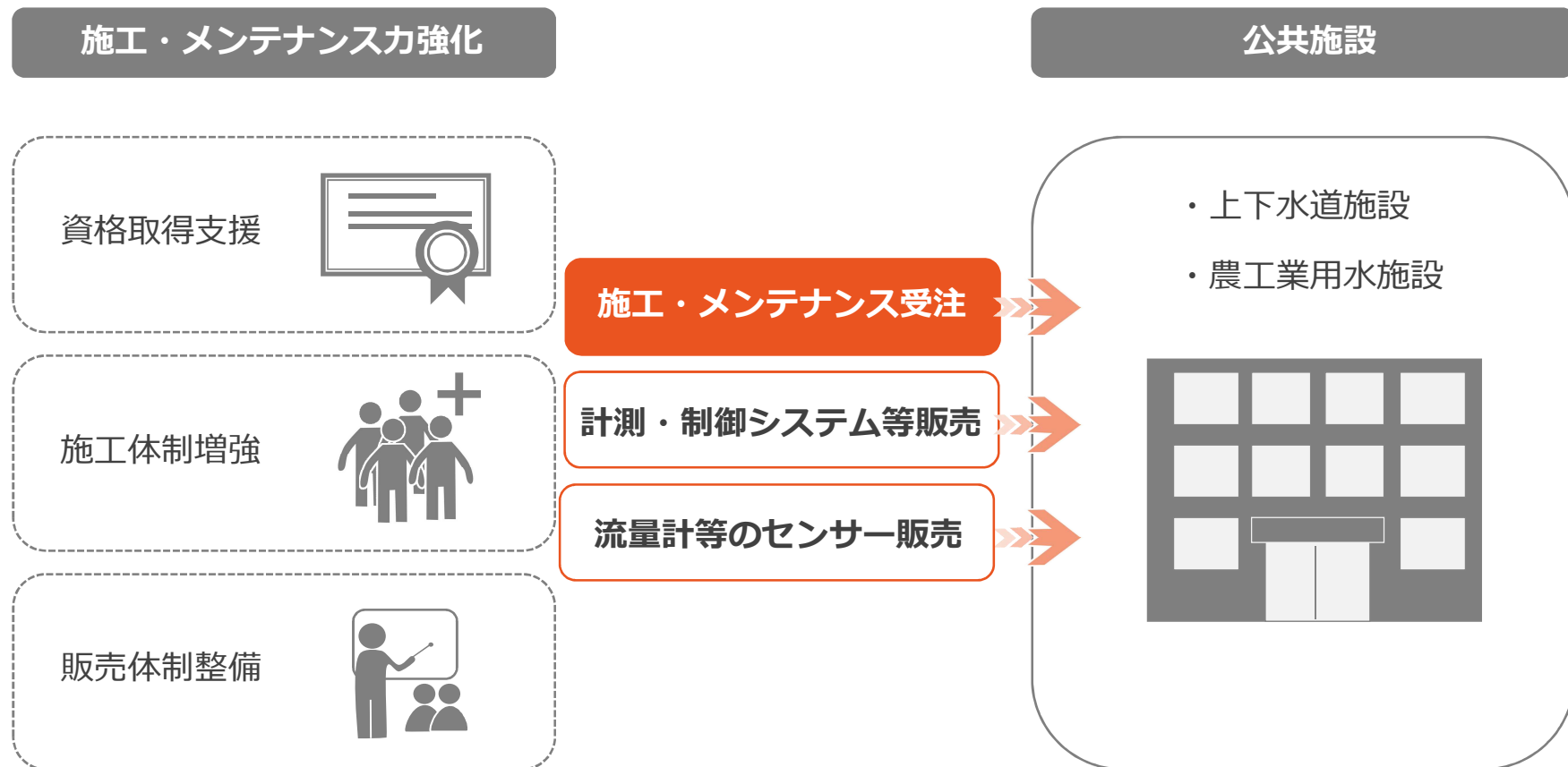
スマート水道メーターの導入に向けた実証実験

- ◆スマート水道メーターの導入に向けた実証実験について (2020年11月26日プレスリリース)
 - ・対象地域 宮城県名取市
 - ・実施期間 2020年11月4日～2021年3月31日
- ◆スマート水道メーターの導入に向けた実証実験について (2021年10月22日プレスリリース)
 - ・対象地域 大阪府豊中市
 - ・実施期間 2021年9月30日から2022年3月31日
- ◆水道使用量と生活データを活用したフレイル検知実証実験について (2021年12月10日プレスリリース)
 - ・対象地域 愛知県大府市
 - ・実施期間 2021年12月13日から2022年6月中旬
- ◆水道・ガスのスマートメーターを活用した見守りサービスの実証実験について (2022年 1月11日プレスリリース)
 - ・対象地域 静岡県掛川市
 - ・実施期間 2022年1月下旬～2023年1月下旬
- ◆セルラー系LPWAを用いたスマート水道メーターの試験導入について (2022年 2月 3日プレスリリース)
 - ・対象地域 愛知県名古屋市
 - ・実施期間 2022年1月～2025年3月



◆ 公共施設向けセンサー・システムの販売・施工・メンテナンスの強化

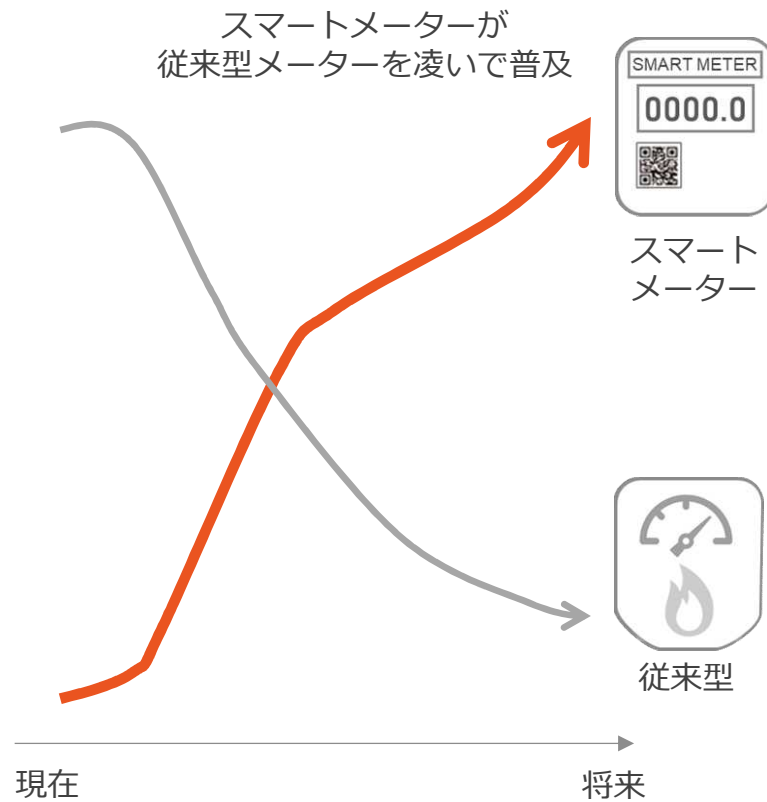
公共施設向けに提案力を強化し、流量計等センサーや計測・制御システムの販売を伸長
同時にセンサーやシステムの設置／施設設計・施工・メンテナンス受注を推進し、公共事業での競争力を強化



◆スマートメーターの生産対応

スマートメーター需要の増加を見据え、生産体制を増強

スマートメーターの普及拡大

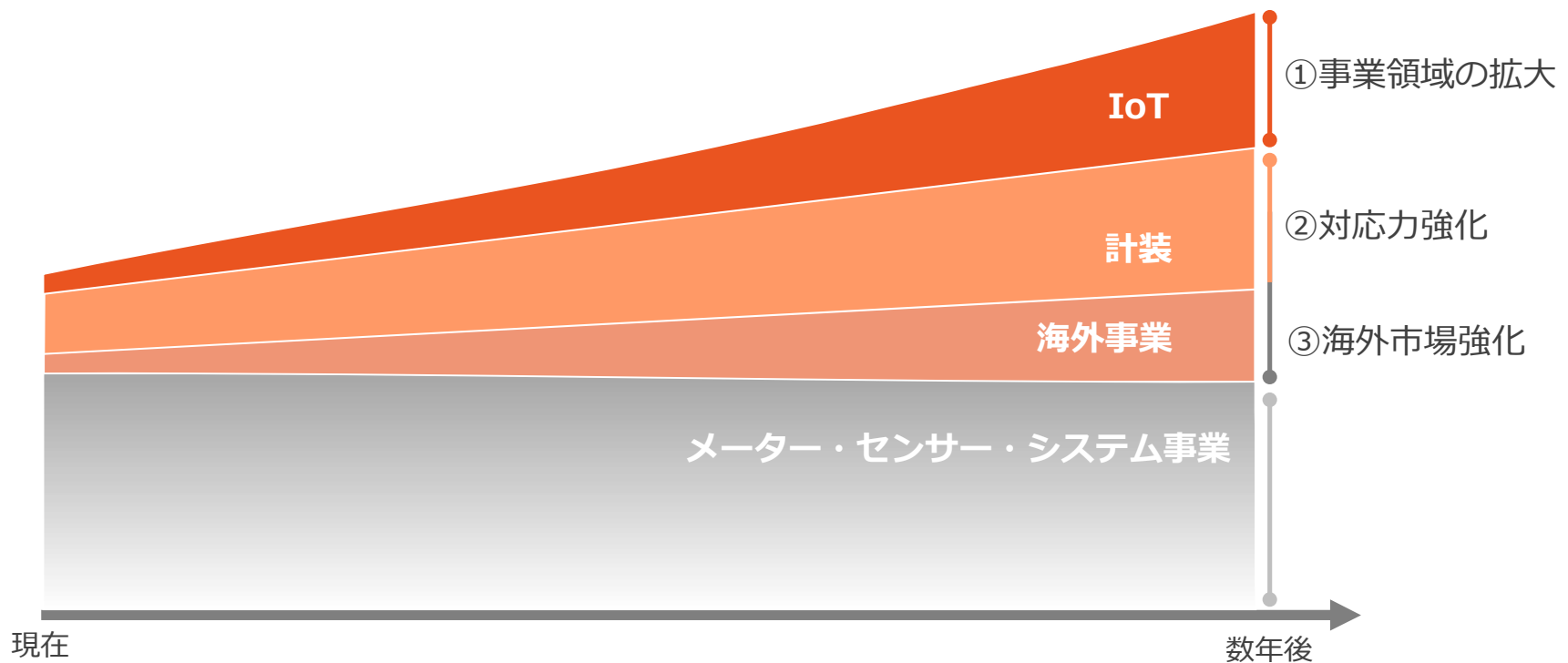


スマートメーターの需要拡大に向けて
生産設備を増強

4.中期経営計画 成長イメージ

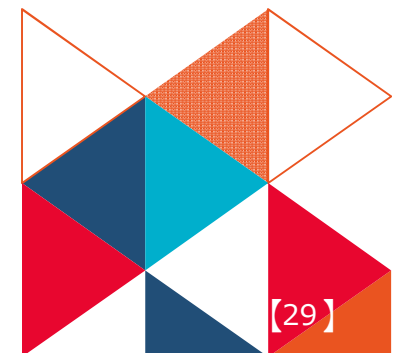
インフラを支える領域で成長し
毎日の生活を支える社会にとって不可欠な存在を目指す

- ①普及が進むスマートメーターの提供と連動させた新たな事業の柱を構築
- ②提案力・営業力・受託力を強化し堅固な顧客基盤を構築
- ③海外市場向け商品競争力の強化とパートナーとの関係強化





5 appendix



カーボンニュートラルチャレンジ2050

2050年までに脱炭素社会、すなわちカーボンニュートラルの実現を目指します。

取組み：CO2フリー電力の導入

2022年4月より本社、本社工場及び岡崎工場並びにアイチ木曾岬精工株式会社において、CO2フリー電力の導入を開始しました。

この取組みにより、2022年度のCO2排出量は、当社グループ全体で2013年度比67%減となる見込みです。

実績：2021年度CO2排出量

2021年度の愛知時計電機グループ全体のCO2排出量は、2013年度比で△10.7%となりました。



カーボンニュートラルチャレンジ2050

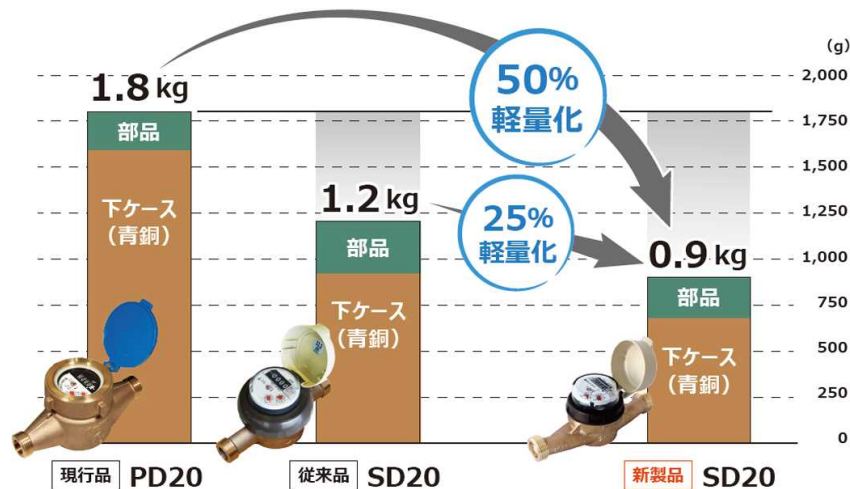
2050年までに脱炭素社会、すなわちカーボンニュートラルの実現を目指します。

取組み：環境にやさしい製品づくり

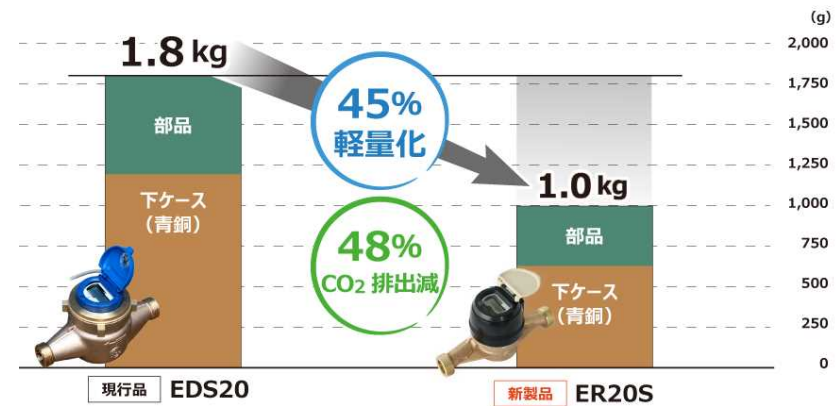
◆水道メーターの軽量化・小型化

家庭用水道メーターは、検定有効期限が8年とされ、全国で年間約750万台が交換されています。

当社では、より環境に配慮した製品を開発するため、水道メーターにおいて材料の使用量や構造を大幅に見直した結果、現行品比で新型高機能乾式水道メーター **SDシリーズ**では50% (※)、新型電子式水道メーター**ERシリーズ**では45% (※)の軽量化を実現しました。 これにより運搬や施工の効率化と製造工程でのCO2低減に貢献します。 ※口径：20ミリ



現行品PD20、従来品SD20と新型SD20Sとの比較 (当社比)



現行品EDS20と新型ER20Sとの比較 (当社比)



〈免責事項〉

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報や合理的であると判断した一定の前提に基づくものであり、様々な要因により実際の業績などが大きく異なる可能性があります。